

令和5年1月15日(日)

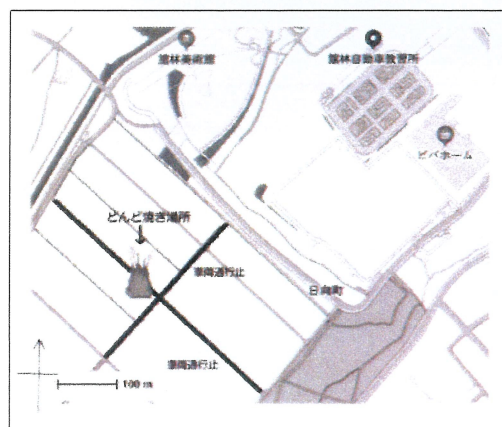
日向区 どんと焼き



毎年、新年の小正月(1月15日)頃、日向区民会館そばの長良神社で行っていた「どんと焼き」ですが、令和5年については、館林美術館西(地図参照)の干拓において実施することになりました。

日時 令和5年1月15日(日)
飾り等持ち込み 午前8時～9時
どんと焼き 点火 午前10時

※ 雨天・強風の場合、1月22日に延期



どんと焼きの本来の意味は、「お正月に歳神様(年神様)をお迎えするために、飾った門松や松飾りを正月の終わる小正月(1月15日)に焼いて、歳神様を空へお送りする」というものです。このどんと焼きに行くことで学業成就のご利益があり、ここで焼いたお餅などを食べることで無病息災を願うと言った様々な意味のあるお正月の行事です。

また、どんと焼きの火や煙に当たることで、一年健康に過ごせるようになるとも言われています。さらに、どんと焼きの灰は魔除け、厄除けの力があり、家の周りにまくと良いともされています。(「神仏ネット」より要約)